

御前崎から世界に駆け出す
次世代サーファー

さとう すもも
佐藤 李さん



写真提供：wavesplash



PROFILE

さとう すもも(白羽区)
プロサーファーになることを目指し、
毎日午前午後の2時間ずつ練習に励む
高校1年生。

周囲の期待を胸に全国大会へ

「よろしくお願いします!」
と取材前に元気にあいさつし
てくれた佐藤李さんは、世界
で活躍できるプロサーファー
を目指している。今年6月に
開かれた全日本サーフィン選
手権大会の予選では見事1位
を獲得し、8月21〜28日に福
島県で開催予定の本大会への
出場を決めた。

不足分を補い、日本一へ

を「物心が付く前からサー
フィンをしてきました」と話
す李さん。それもそのはず、
父・栄倫さんはウインドサー
フィンショップを経営し、
母・素子さんはウインドサー
フィンW杯の日本人初の優勝
者で、現在も活躍している
トッププロなのだ。この両親
を持つ李さんは生まれて間も
ない頃から両親に連れられ、
夏はハワイ・マウイ島へ、夏
以外は御前崎を含む国内のさ
まざまな海に触れてきた。ま
た、小・中学生の頃は毎年夏
になるとハワイに住み、地元
の学校に通いながらサーフィ
ンの練習に励んできた。そこ
には「李さんが世界で活躍で
きるサーファーになる手助け

このように、本人の努力と
家族や周囲の支援によって実
力を付ける一方で、世界で活
躍するには大会の出場経験が
不足していると素子さんはい
う。それはサーフィンの大会
が多い夏の期間を海外での練
習に費やしてきたからだ。現
在はその不足分を補うため、
勝つためのサーフィンを学ぶ
日々を送っているという。

李さんは、サーフィンの魅
力を毎日表情を変える波に合
わせて乗ることだと語る。大
舞台の波をどのように乗りこ
なすのか、楽しみであると同
時に、世界に駆け出していく
李さんを応援したい。